

利休と剣仲

千利休と藪内剣仲 — 侘数寄の心

2017年10月7日(土) - 12月17日(日)

前期: 10月7日(土) - 11月12日(日) 後期: 11月14日(火) - 12月17日(日)

※作品保護のため、一部展示替えを行います

※目録と展示順とは必ずしも一致しません。※前期・後期記載のないものは通期展示です。※都合により出品作品が変更になることがあります。

番号	作家名	作品名	所蔵	前期 後期
1	村田珠光	山水図自画賛		☐
2	藪内竹心	藪内剣仲像	藪内燕庵	☐
3	千天然	千利休像		☐
4	藪内竹心	千利休像		☒
5	長谷川派	柳橋水車図屏風		
6	藪内竹猗	千本松図風炉先屏風		
7	宗峰妙超	法語 与道刃禅尼		☐
8	藤原定家	小倉色紙 利休消息添		☒
9	千利休	消息 藪内剣仲宛「うらやましの文」	藪内燕庵	☐
10	千利休	消息 藪内剣仲宛「菓種到来の文」		☐
11	千利休	消息 藪内剣仲宛		☒
12	千利休	消息 藪内剣仲宛「鮭一ケの文」		☐
13	千利休	消息 細川三斎宛「末期の文」	藪内燕庵	☒
14	春屋宗園	剣仲号偈	藪内燕庵	☒
15	藪内剣仲	寂寥		☐
16	古田織部	消息 藪内剣仲宛		☐
17	古田織部	消息 藪内剣仲宛「筋痛みの文」	藪内燕庵	☒
18	千利休筆	瓢形額「雲脚」	藪内燕庵	
19		燕庵名物 古天明 鍋釜		
20	辻与次郎	燕庵名物 阿弥陀堂釜		
21	名越浄味	利休尻張釜		
22		古天明 金槌釜	藪内燕庵	
23		秋野、蒔絵香合		
24	織部	袂香合	藪内燕庵	
25	織部	弾き香合		

千利休は、和泉国・堺の商家(屋号「魚屋」)に生まれ、幼名は与四郎、名は宗易。斎号は抛笠斎、17歳で北向道陳に、ついで武野紹鷗に師事しました。堺の南宗寺に参禅して、その本山である京都・大徳寺とも親しく交わります。織田信長、豊臣秀吉の茶頭となり、草庵での侘数奇の茶道を大成。今井宗久、津田宗及と共に茶湯の天下三宗匠と称せられて、「利休七哲」他、多くの弟子を抱えました。天正13年(1585)10月、正親町天皇への禁中献茶において、秀吉の茶堂として宮中参内するため居士号「利休」を勅賜されます。やがて秀吉との関係に確執が生じ、天正19年(1591)に切腹を命ぜられ70歳でその生涯を閉じました。



利休と剣仲

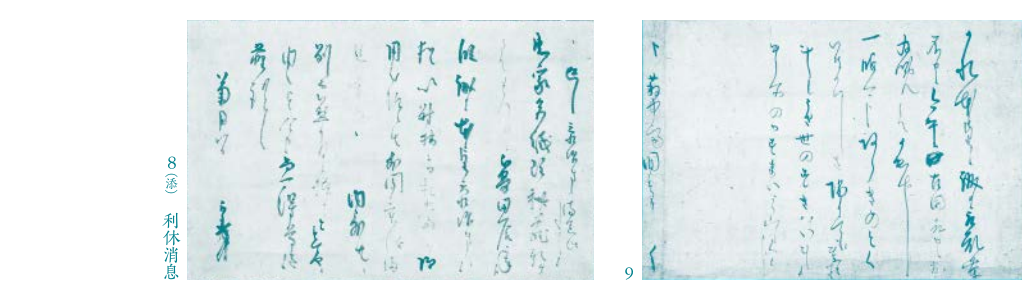
藪内紹智は、和泉国・堺の茶匠藪内宗把(宗巴)の養子で藪中斎・剣仲と号しました。茶の湯をはじめ養父に、ついで武野紹鷗に師事して、師より「紹」の一字を頂き紹智を名乗ります。利休とともに紹鷗門下で侘び茶を学びました。天正7年(1579)、利休の勧めにより剣仲は大徳寺111世春屋宗園に参禅のために上洛し、天正9年(1581)には利休から茶室雲脚を贈られます。剣仲の道号は、文禄4年(1595)、61歳の時に春屋より賜ります。剣仲の妻は、古田織部の妹で、その媒酌人は利休でした。宗把や紹鷗、織部を介して結ばれた利休と剣仲の交友と、深い親愛の情が伝わる道具や消息(書簡)が、現在にも数多く伝えられています。寛永4年(1627)、92歳の長寿を全うしました。

同家2代月心軒真翁(1577-1655)は、西本願寺の茶道師家に迎えられ、以来、藪内家は今日まで西本願寺門主への点始めを受け継いでいます。





番号	作家名	作品名	所蔵	前期 後期
26	楽道入	鶏 香合		
27		大名物 漢作唐物 薬師院肩衝茶入		
28		燕庵名物 古瀬戸 藤四郎肩衝茶入	藪内燕庵	
29 重要美術品		大名物 漢作唐物 利休丸壺茶入		
30		瀬戸 藤四郎春慶茶入 銘「利休メ切」		
31	盛阿弥	利休形 大棗		
32		利休形 小棗		
33	幸阿弥	女郎花蒔絵棗		
34		紹鷗飯器棗		
35		黒棗		
36	豊臣秀吉	茶杓 筒 津田宗及		□
37	織田有楽	茶杓 共筒 銘「初霜」		■
38	武野紹鷗	茶杓 筒 千宗旦		■
39	武野紹鷗	茶杓 筒 千宗旦		□
40	津田宗及	茶杓 筒 江月宗玩 銘「夢」		■
41	千利休	茶杓 共筒		□
42	藪内剣仲	茶杓 共筒		■
43	古田織部	茶杓		□
44	古田織部	茶杓 筒 藪内竹心	藪内燕庵	■
45	藤村庸軒	茶杓 共筒		■
46	武野宗瓦	茶杓 共筒		□
47	瀬田掃部	茶杓 銘「妓王妓女」		□
48	藪内真翁	茶杓		□
49		瀬戸 茶壺 銘「隠里」		
50		瀬戸 白天目茶碗		
51		大名物 長束割高台茶碗		
52		燕庵名物 燕庵井戸茶碗		



番号	作家名	作品名	所蔵	前期 後期
53		御所丸茶碗 銘「おし鳥」		
54		青井戸茶碗 銘「千歳」		
55		志野織部 筒茶碗	藪内燕庵	
56		織部黒 筒茶碗 銘「玉箒」		
57		織部黒 筒茶碗 銘「深山木」		
58 重要美術品	楽長次郎	黒楽茶碗 銘「古狐」		
59	楽長次郎	黒楽平茶碗 銘「聚楽丸」		
60	楽長次郎	黒楽茶碗 銘「朝烏」		
61	楽長次郎	黒楽茶碗 銘「摺墨」		
62	豊臣秀吉	古瓢花入 豊公千成瓢ノーツ		□
63		唐物 木耳籠花入		■
64		唐物 古銅 筒型花入		
65	武野紹鷗	洞切花入		□
66	千利休	一重切花入		■
67	千利休	籠花入 銘「桂川」		
68	古田織部	一重切花入 銘「弁慶」	藪内燕庵	□
69	古田織部	一重切花入 銘「ひぢ枕」		■
70	藪内剣仲	一重切花入		□
71	千宗旦	二重切花入 銘「のんこう」		■
72		井戸 雷盆水指		
73		信楽 鬼桶水指 銘「賤女」		
74	余三	真塗手桶水指		
75		備前水指 銘「溜水」		
76	千利休	柄杓		
77	楽長次郎	焙烙 灰器		
78		時代 桑柄火箸		
79		唐物 籐組 臈当炭斗		